

# 2023 年度 授業概要

科目名	義肢演習			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年		必修・選択	必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>OSCEとは「Objective Structured Clinical Examination」の頭文字を取ったもので、「客観的臨床能力試験」と訳されています。OSCEは判断力・技術・マナーといった基本的な臨床技術を客観的に評価するため、実際の現場で必要とされる臨床技術の修得を適正に評価する有効な方法とされています。この授業では、OSCEに基づいたプログラムにより、義足製作のための身体評価から採型、適合の際に義肢装具士に必要な総合的な臨床技術の習得を目指します</p>								
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>切断者モデルさんの協力の上、実際の義肢製作の過程を、OSCE形式に従い試験として採型（身体機能の評価、断端の評価と義足のデザインの決定）と適合（ソケットトラブルの解決、異常歩行の修正）を実施する。これまでの実習との大きな違いは一人に決められた時間内での作業を2人以上の評価者によって、その作業中の判断力・技術・マナーまでも総合的に評価を行うことである。</p>								
<p>〔講師の実務経験〕</p>								
<p>〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>大腿義足の製作に必要な身体機能の評価・断端の評価、最適なソケットの選択が出来る。義足各ソケットの正確な採型手技を取得する。切断者の評価に基づき、最適な義足パーツの選択ができ、そのために必要な情報を収集できる。論理的手法に基づく義足の適合を実施し、問題点を解決もしくは解決方法を提示することができる。</p>								
回数	講義内容							
1	IRCソケット復習、膝継ぎ手講義、アセスメント・採型・陽性モデル修正(Demo)①							
2	IRCソケット復習、膝継ぎ手講義、アセスメント・採型・陽性モデル修正(Demo)①							
3	IRCソケット復習、膝継ぎ手講義、アセスメント・採型・陽性モデル修正(Demo)①							
4	IRCソケット復習、膝継ぎ手講義、アセスメント・採型・陽性モデル修正(Demo)①							
5	IRCソケット復習、膝継ぎ手講義、アセスメント・採型・陽性モデル修正(Demo)①							
6	アセスメント、採型演習、陽性モデル修正(学生)①							
7	アセスメント、採型演習、陽性モデル修正(学生)①							
8	アセスメント、採型演習、陽性モデル修正(学生)①							
9	アセスメント、採型演習、陽性モデル修正(学生)①							
10	アセスメント、採型演習、陽性モデル修正(学生)①							
11	陽性モデル修正(Demo)②、陽性モデル修正(学生)②、ソケット製作①							
12	陽性モデル修正(Demo)②、陽性モデル修正(学生)②、ソケット製作①							
13	陽性モデル修正(Demo)②、陽性モデル修正(学生)②、ソケット製作①							
14	陽性モデル修正(Demo)②、陽性モデル修正(学生)②、ソケット製作①							
15	陽性モデル修正(Demo)②、陽性モデル修正(学生)②、ソケット製作①							
16	ソケット製作②、ベンチアライメント							
17	ソケット製作②、ベンチアライメント							
18	ソケット製作②、ベンチアライメント							
19	ソケット製作②、ベンチアライメント							
20	ソケット製作②、ベンチアライメント							
21	適合・アライメント調整・歩行評価演習							
22	適合・アライメント調整・歩行評価演習							
23	適合・アライメント調整・歩行評価演習							

2023 年度

授業概要

科目名		義肢演習			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年	必修・選択	必修
回数	講義内容							
24	適合・アライメント調整・歩行評価演習							
25	適合・アライメント調整・歩行評価演習							
26	症例プレゼンテーション							
27	症例プレゼンテーション							
28	症例プレゼンテーション							
29	症例プレゼンテーション							
30	症例プレゼンテーション							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布資料		

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

課題評価の合計点10%+実技試験40%+終講試験50%  
 \*ただし実技試験、終講試験それぞれの点数が60%を満たさない場合は再試とする。